

予算特別委員会

3月6日に予算特別委員会を設置し、委員長に青木久子議員、副委員長に星川久議員を選出しました。その後、3月8日〜12日まで課別審査を実施し、平成24年度予算に関して各課長より詳細な説明を受けました。3月13日の本会議では、青木委員長が小林議長に予算特別委員会の審査結果を報告し、全議員による質疑・討論・採決をおこない、平成24年度一般会計・特別会計予算ともに可決しました。

婚活・物産交流に期待

一般会計

村形昌一議員

Q 婚活事業補助金は、どのように運用し、単年度で終わるのか。
A 若い人たちの自由な発想のなかで活用していただき、継続事業としていきたい。

村岡 藤弥 議員

Q 条件変更により特別栽培米補助金がなくなるが。
A 雪国でも対応できる内容に、国・県に働きかける。

Q 物産交流事業、商業活性化事業は継続して予算化するのか。
A 人的交流と商工農が



活性化が期待される物産交流

一体となり売り込まなければならぬ。ともに継続し、当初予算に組み込みたい。

関 幸悦 議員

Q 福祉バスは冬期間、手挙げ方式にできないか。
A 始めたばかりの事業だ。2、3年かけ要望を聞きながら良いものにしてい。

Q グランドゴルフ場へのトイレ設置は。
A 公共下水道整備の関係から1年だけは我慢していただきたい。

遠藤 宏司 議員

Q 防災関連はどうなっている。
A 庁舎の非常時電源として発電機の交換。東北カートンという会社と災害時の簡易ベッド提供の

Q 徴税未収が増加している。徴収専門員配置の考えはないか。
A 様々な付き合いの中で交流都市・友好都市をつくり、そこから進めていきたい。

芳賀 清 議員

Q 入所希望待機者が103人いるが解消策は。
A 廃校舎を利用し29人規模の施設が予定されている。そのような方向で待機者を減らす努力をする。

特別会計

国民健康保険

村形昌一議員

Q 料金改定が必要だがどう説明するのか。
A 国保運営委員会で決定後に町民、議会に説明する。

芳賀 清 議員

Q 予防医療への考えは。医療費の抑制のためにも対策を講じていく。
Q 待機者数、保険料値上げ等情報を町民に発信

介護保険

遠藤 宏司 議員

Q 給食センターを民間委託する考えはないか。
A 慎重に検討した上で方向性を見出す。

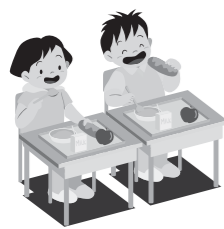
学校給食

芳賀 清 議員

Q 給食費未納者を出さないため「子ども手当」から天引きしては。
A 本人の承諾があれば今年から可能。

村形昌一議員

Q 給食センターを民間委託する考えはないか。
A 慎重に検討した上で方向性を見出す。



Q 連絡協議会など組織化の考えは。
A それぞれの処理区の現状を認識する上で有効なので検討する。

芳賀 清 議員

Q 近隣の市町村を参考に検討したい。
Q 物産交流と併せて災害支援協定を結ぶ考えはないか。
A 様々な付き合いの中で交流都市・友好都市をつくり、そこから進めていきたい。



山形県と市町村が合同で活動した災害支援隊（岩手県）



Q 自助防災組織ごとに非常用小型発電機設置の考えはないか。
A 自動車からの受電も可能であり、総合的に取り組む。

星川 久 議員

Q 災害時、被災地に対する支援活動の考えは。
A 交流を軸とし災害復興に協力していくという考えで取り組む。

小玉 勇 議員

Q 自助防災組織ごとに非常用小型発電機設置の考えはないか。
A 自動車からの受電も可能であり、総合的に取り組む。



地域防災の要となる自主防災組織



委員長 青木 久子

予算特別委員会審査報告書

平成24年第1回定例会本会議から付託された、議案第9号平成24年度大石田町一般会計予算と、議案第10号より議案第16号までの7特別会計予算について、3月8日から12日まで課別審査をおこない、関係職員の出席を求め詳細な説明を受けました。13日には町長出席の中で総括審査を行い慎重に審査し、原案のとおり可決すべきものと決定しました。



特別養護老人ホームとして活用される予定の旧駒籠小学校